

令和 8 年度 豊橋市外国人市民会議

～外国人市民会議委員の役割と今後の活動について～

- 日時 2026 年 9 月 13 日（日） 午前 10 時 00 分～午前 11 時 40 分
- 場所 豊橋市役所 東館 1 2 階 1 2 1 会議室
- 概要 今回は、新しく 2 名の委員が加わったことから、改めて外国人市民会議委員の役割を確認しながら、今後どのような活動をしていきたいかについて話し合いました。話し合いの中では、子育て、教育、防災、コミュニティ形成、イベント等さまざまなトピックについて意見が出ました。豊橋市には 81 カ国の外国人市民が住んでいることから、コミュニティごとに情報提供のアプローチ方法が違ったり、子育てをする世代によっても困りごとが違ったりすることがわかりました。
- 参加者
 - ・豊橋市外国人市民会議委員（8 名）
 - ・穂の国とよはし芸術劇場プラット（2 名）
 - ・豊橋市社会福祉協議会（1 名）
 - ・多文化共生・国際課（5 名）

時間	内容
10:00	挨拶、自己紹介
10:10	外国人市民会議委員の役割と今後の活動について ・意見交換
11:15	情報提供
11:40	終了

●意見交換

はじめに、今までの外国人市民会議で取り組んだ活動内容を振り返りました。

これまでの活動を振り返ろう



外国人防災リーダー養成講座を受講しました



新しく完成した施設等の見学をしました



さまざまな事業について意見を出しました

豊橋市の外国人市民会議は、今年で16年目を迎えます。委員には任期があるため、すべての会議に参加された方は現在いませんが、過去には外国人防災リーダー養成講座の受講や、こども未来館ココニコ、道の駅とよはしの見学、市の事業に対し外国人市民の視点から意見を出すなど、さまざまな活動に取り組んできました。

これらを踏まえ、外国人市民会議委員の役割について再度確認し、これから新たに取り組んでみたい内容について意見を出し合いました。

私が考える外国人市民会議・地域の課題

- ・外国人と日本人が共存できる社会を実現すること。いかに**お互いの価値観をすり合わせていく**かが重要
- ・**日系人の高齢化と次世代の教育が心配**。特に教育は、中退してしまったりして、教育が中途半端になってしまうことが課題の一つ
- ・日本語などが不十分な子の教育の受け皿がない子たちをどうしたらいいの**か不安**になる。
- ・小中学校の現場では、日本語話せない子もいる。そういう子たちは**授業についていけないこともあるため支援できればいいと思うが、人や時間が無い**。
- ・1人1台タブレットに翻訳ツールが入ったことで授業に参加できる一方、ツールに頼って日本語を勉強する努力をしなくなってしまう可能性もある。
- ・幼稚園の先生から外国人の子が日本人の子とうまく遊べないという聞く。**時習館中学校の多文化共生コースのような取り組みが幼稚園・保育園にもあるといい**。小さいうちから、いろんな人と触れ合える機会があることで、違いを受け入れるようになるのでは。
- ・**ハラル**でないと食べられないが、他の子が食べてると食べてしまう。**小学校入学時どうなるか心配**。
- ・**配慮してくれる保育園**を見つけるまでに10園くらい見学た。自分で頑張って調べていたが、3歳未満でも預けることができるなど**制度で知らなかったこともたくさんあった**。

話し合いの中では、外国人と日本人が共存できる社会を実現すること、そのためにはお互いの価値観のすり合わせが重要だという意見があがりました。この意見を筆頭に、外国人市民会議委員からみた現在の豊橋市について、いくつかの課題が見つかりました。例えば高齢化、教育、子育てに関する内容等です。

次に、委員がこれから取り組んでみたいことについて意見を出し合いました。ここではコミュニティ形成、防災、教育を中心に話し合いが進みました。コミュニティ形成のポイントとしては、国籍によって情報提供方法が異なることや、コミュニティ形成のきっかけとなる出来事・場所の違いがわかりました。また、災害情報を届ける際にも国籍別にアプローチするだけでなく、今後は国籍を超えた横のつながりをどのように作っていくかも重要だと意見があがりました。

私が「やってみたい」と思うこと

【コミュニティ形成】

- ・例えば、市が各国のライングループを作って、知り合いができたり情報交換ができるプラットフォームを作れるといい。
- ・イベントに参加することで知り合ったりする。
- ・最近災害が多く、どう行動したら分からないという外国人も多くいると思うので、それも課題。
- ・ムスリムの方はモスクがコミュニティにもなる。

【災害・防災】

- ・災害はずっと課題。自分の身近な人からまずは伝えていこうと考えていて、関係各所にも相談したい。また他の国籍の方とも協力してやれるといい。

【教育】

- ・キャリアカウンセリングの経験を生かして外国人の子たちの支援できれば。
- ・学校現場の先生たちが外国人の子たちをどう支援するのか知っていると良い。
- ・豊橋市民のみなさんに外国人のことをもっと知ってほしい。他市に住んでいた時は学校などで自分の国について紹介したりしていたので、そういう機会があると良い。

●まとめ

委員の皆さんは、身の回りで起こっている課題を共有するだけでなく、災害時の際など、国籍を超えた関係づくりの重要性についても意見を出してくれました。一人ひとりが委員として、またコミュニティのキーパーソンとして具体的にどのようなことができるか、全員でどのようなことができそうかを話し合える貴重な時間となりました。

今回の会議で出た意見やアイデアを参考に、委員のみなさんがより多くの場で活躍していただけるよう、今後も連携を図りながら事業を進めていきたいです。参加された委員のみなさん、貴重なご意見をありがとうございました。

以上

